



PRESS RELEASE

SEPTEMBER 20, 2011

クエンタム マテリアルズ社とナノアクシス社が技術アライアンスを締結

医療分野向け量子ドットの量産により、期待される治療診断ナノ医療(セラノスティック・ナノメディシン)の量産化を現実

2011年9月20日 米アリゾナ州(テンピ) – クエンタム マテリアルズ社(シンボル: QTMM.PK)とナノアクシス社の両社は、クエンタム マテリアルズ社のコロイド状量子ドット量産技術とナノアクシス社のバイオメディカル・ナノ技術分野における最先端の研究成果及び知的財産(IP)を統合するテクノロジー・アライアンス契約を締結したことを発表致しました。このアライアンスの目的はテトラポッド型量子ドットを基礎とした癌診断用キット並びにアルツハイマー病、1型及2型糖尿病、乳がん、大うつ病を含む治療診断用アプリケーションを開発・提供する事です。

クエンタム マテリアルズ社は、ナノアクシス社の独自バイオメディカル・ナノ材料と共に機能して薬物/遺伝子療法や診断用メディカル・デバイス技術における薬物送達プラットフォームを多重化するための特殊な量子ドットの開発を行います。クエンタム マテリアルズ社が使用材料、形状、サイズ、特性そして複数のプロジェクトにタイムリーに出荷が要求される供給量を満たすことのできる最高品質の量子ドットを生成可能な事から、アライアンスはこれらのテクノロジーを早期に開発する事が可能となります。

初期目標は早期癌の検出、診断、定量化のための QD マイクロアレイ・デバイスの開発を行う事です。QD-MI デバイスは、既存の単一 ELISA(エンザイム)測定法と比べて簡単でありながら高精度且つ低コストな血液測定法で、多岐に渡る複数の癌の早期検出と類別を行う事が可能となります。また全ての診断及び医薬製品はナノアクシス社のバイオメディカル IP ナノ技術で機能する QMC 社製の量子ドットが適用されます。

BCC リサーチ社より出版されている最新のレポートによれば、ナノバイオ技術製品の世界市場は 2010 年では1兆 4800 億円規模であり、年複利(CAGR)を 9%として計算した場合は 2015 年には市場規模は 2 兆 2800 億円へと成長する事が予想されています。

クエンタム マテリアルズ社及びその子会社ソルテラ・リニューアブル テクノロジーズ社の最高経営責任者(CEO)兼社長であるStephen Squiresは以下のようにコメントをしています。”このアライアンスは、ナノアクシス社の持つナノメディシン製品群を量産可能にする治療診断サイエンスにおける画期的成果を助成するものです。目標はバイオとメディカルの市場分野において、これらの生物学的に順応した量子ドットを生体外や生体外アプリケーションに対してより高い処理能力を持ち、効果的で低コスト・アプリケーションとして理想的な選択肢にすることです。ナノアクシス社製品のデリバリー・プラットフォームとして機能する各々に最適化された材料、形状、サイズ、特性を持つテトラポッド型量子ドットを生成できるクエンタム マテリアルズ社の技術は、ナノアクシス社製品が早期に市場に投入されることを可能にするでしょう。”

ナノアクシス社の最高経営責任者(CEO)兼社長 Dr. Krishnan Chakravarthy はまた、“我々の業界においてこれは画期的な出来事と言えるでしょう。今回のナノアクシス社とクエンタム マテリアルズ社の技術アライアンス関係は最先端のナノメディシン研究成果を量産体制へ移行することを可能にします。両社の技術融合により生まれるシナジーは両社の経験豊富な経営陣、研究チームにより一層効果を発揮し、またこのパートナーシップが多くのバイオメディシンの先進ソリューションの触媒的役割を果たすものと信じます。”と述べています。



さらに、ナノアキシス社のグローバル戦略ディレクターである Siddhartha Kamiseti も、“このアライアンスはバイオメディカル分野における一連の先駆的開発の先駆けとなり、世界中で疾病に苦しむ人々を救済する重要な機会を創出することでしょう。”とコメントしています。

クエンタム マテリアルズ社とナノアキシス社に関して

クエンタム マテリアルズ社は、先進テクノロジーが国際社会が抱える多くの課題への一つの解決策となり得るという確固としたビジョンを固持しています。クエンタム マテリアルズ社は製造コストの削減や実験室レベルから商業製品への移行を可能とする量産手法を確立し、革新的なハイ・パフォーマンス製品群の提供を通じて革新的ソリューションの開発を促進できる技術の普及に貢献しています。 (<http://www.qdotss.com>)

ナノアキシス社のミッションは、患者看護の面で反響が予想されるベンチ・ツー・ベッドサイド手法(研究室での成果を直接患者の治療に役立てる開発プロセス)へのパラダイム・シフトを推進するナノメディシン製品群を生成し、慢性痛、憂うつ病、アルツハイマー病、癌、糖尿病、インフルエンザなどの症状や疾病に対する検出、測定、治療を可能とする最新の治療法や診断手法を開発する事です。

Safe Harbor statement under the Private Securities Litigation Reform Act of 1995

This press release contains forward-looking statements that involve risks and uncertainties concerning our business products, and financial results. Actual results may differ materially from the results predicted. More information about potential risk factors that could affect our business, products, and financial results are included in our annual report and in reports subsequently filed by us with the Securities and Exchange Commission ("SEC"). All documents are available through the SEC's Electronic Data Gathering Analysis and Retrieval System (EDGAR) at [http:// www.sec.gov/](http://www.sec.gov/) or from our website. We hereby disclaim any obligation to publicly update the information provided above, including forward-looking statements, to reflect subsequent events or circumstances.

クエンタム マテリアルズ社へのお問い合わせに関して:

英語でのお問い合わせ: inquiries@qdotss.com

日本語でのお問い合わせ: toshi@qdotss.com (アジア担当ディレクター安藤まで)

ナノアキシス社へのお問い合わせに関して:

英語でのお問い合わせ: Krishnan.chakravarthy@nanoaxisllc.com (CEO: Dr.Krishnan Chakravarthy)

Siddhartha.kamiseti@nanoaxisllc.com (グローバル戦略ディレクターSiddhartha)